

令和5年度 決算概要（案）

1 事業概要

令和5年度は、令和5年度事業計画及び収支予算（第23回協議会臨時総会で決定）に基づき、地域医療ネットワークシステム「とねっと」の1年間の事業延長による地域医療連携を推進するための事業を行った。

この「とねっと」は、令和4年度末がシステム業者との契約満了となることから、当協議会としては、埼玉県の補助金を活用し、このシステムを令和5年度・6年度の2年間延長し、令和7年度から更新することとしていた。

しかしながら、構成市町（9団体）では、財政難をはじめ、圏域の拡大の難しさ、参加医療機関や住民の患者数の伸び悩みなどを受け、退会の意向を示す団体が過半数を超え、「とねっと」事業の継続が難しくなった。

こうした状況を踏まえ、協議会の承認を得て、参加住民や医療機関等の皆様への周知や事業終了に向けた財産処分などの対応等も考慮した上で、令和5年度末（令和6年3月31日）で事業を終了することとした。更に、令和6年度に前年度の決算監査や財産処分などの事業を実施する必要があることから、清算事業期間（6か月）を設け、令和6年9月30日をもって当協議会を解散することとした。

こうしたことから、「とねっと」に参加する住民（患者）は、事業終了という周知事業の徹底により、参加者は38人（死亡等による同意撤回により参加者増は19人）に留まり、また、医療機関等の参加者も同様に増加には至らなかった。

こうした中、「とねっと」については、事業延長期間中であっても、総務省消防庁の視察（マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化に向けた検討）や、北見工業大学等からの取材（全国で評価されていた「とねっと」の事業終了の経緯等を確認し、今後の地域医療ネットワークの普及に向けての課題の分析）などがあった。

また、「とねっと」システムについては、令和5年度の1年間延長し、その後、6か月の清算期間を経て、事業を終了する方向性を伝えていた中、それでも現状のIT医療連携システムで、医療連携（EHR）と健康記録（PHR）を取り入れているのは全国では唯一「とねっと」システムだけであるため、国立保健医療科学院（和光市）から、これまでのデータを用いて、「とねっと」の効果・検証をしたいとの強い申し出があった。

国立保健医療科学院によると、次のような主に2つの研究を予定されているとのことであった。

- ・健康記録の利用度に応じた臨床検査値（「とねっと」使用前と使用后）の比較
- ・「とねっと」登録群と「とねっと」登録なし群での救急搬送時間の比較

その上で、協議会と国立保健医療科学院との共同名で学会発表や研究成果を公表されるとのことであった。当協議会としては、令和5年3月28日総会において、この旨、承認した。

なお、令和6年3月31日現在、「とねっと」参加住民（患者）数は35,697人（圏域外52人を含む）、参加施設数は136施設（83医療機関、8歯科医療機関、35調剤薬局、2圏域外医療機関、1圏域外歯科医療機関、1圏域外調剤薬局、6臨床検査施設）となっている。

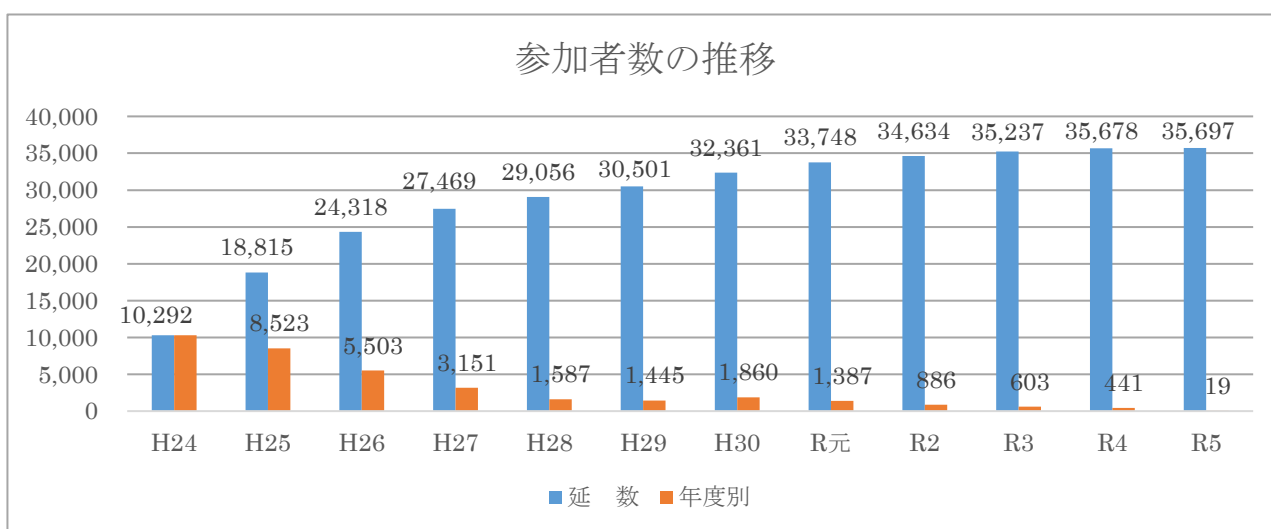
2 事業面（前年度比較：主な指標）

		令和5年度末	令和4年度末	比較
① 住民（患者）の参加者数（人）		35,697	35,678	19
内 訳	圏域内住民	35,645	35,631	14
	・うち紐付け患者数	15,972	16,453	△481
	・うち避難住民の参加特例数	114	114	0
	圏域外住民	52	47	5
	・うち紐付け患者数	27	27	0

※参加者数の推移 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R元 R2 R3 R4 R5

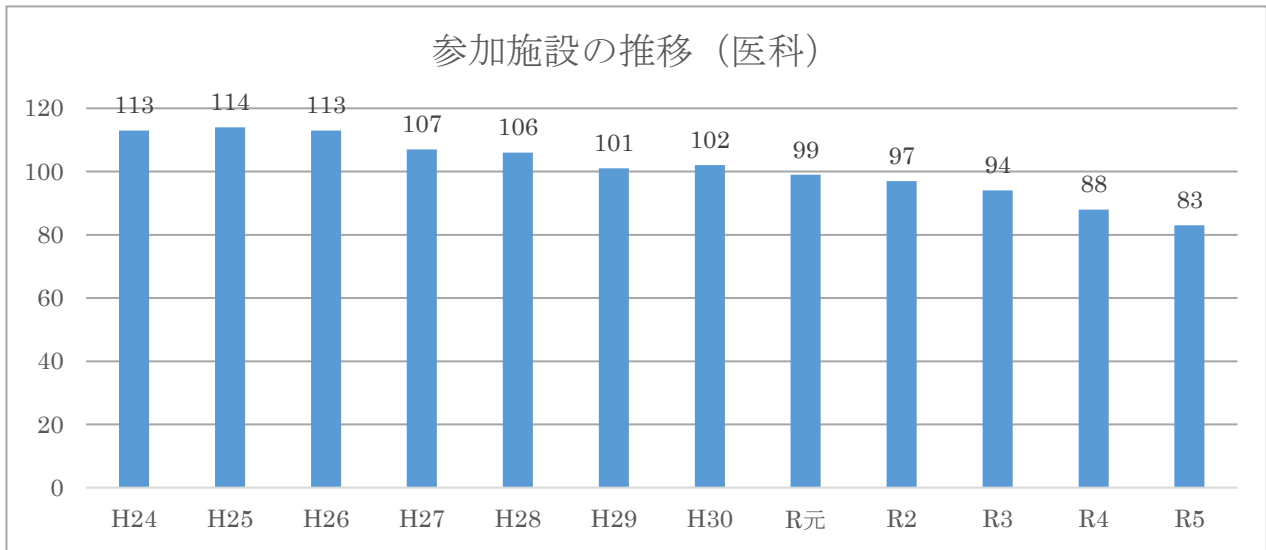
○延数 10,292→18,815→24,318→27,469→29,056→30,501→32,361→33,748→34,634→35,237→35,678→35,697

○年度別 10,292→ 8,523→ 5,503→ 3,151→ 1,587→ 1,445→ 1,860→ 1,387→ 886→ 603→ 441→ 19



		令和5年度末	令和4年度末	比較	
② 医療機関等の参加数（施設）		136	149	△13	
内 訳	圏域内医療機関	126	138	△12	
	医科	・中核病院	7	9	△2
		・県立病院	3	3	0
		・病院・診療所	73	76	△3
	歯科医療機関	8	9	△1	
	調剤薬局	35	41	△6	
	圏域外医療機関	4	5	△1	
	医科	・中核病院	2	3	△1
	歯科医療機関	1	1	0	
	調剤薬局	1	1	0	
	臨床検査施設	6	6	0	

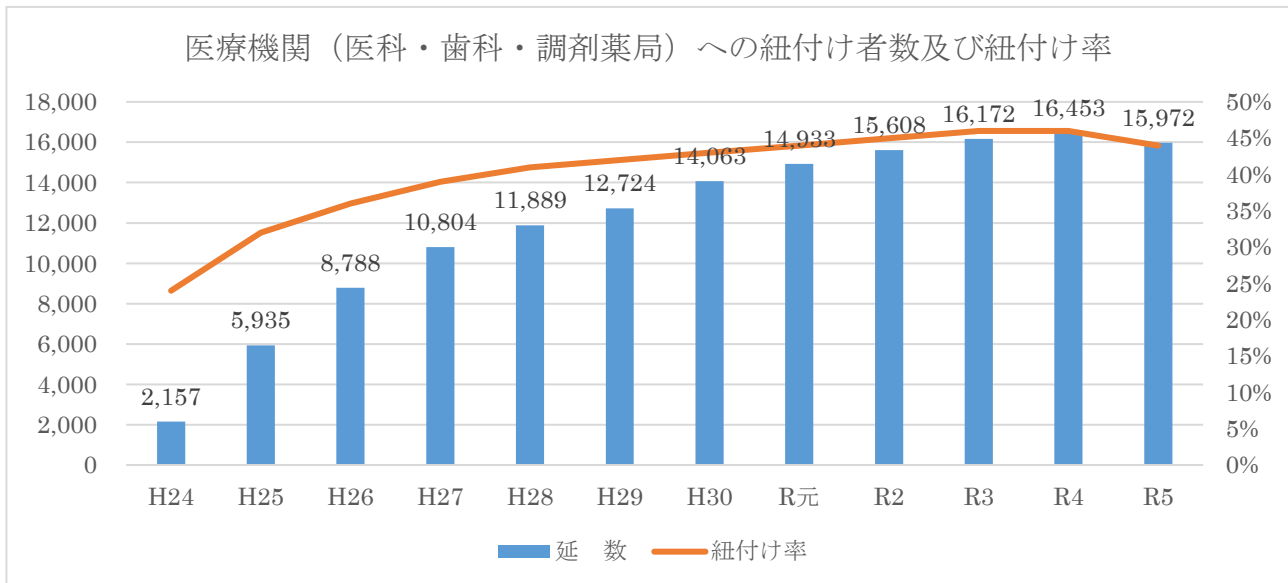
※参加施設の推移（医科） H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R元 R2 R3 R4 R5
 ○延 数 113 → 114 → 113 → 107 → 106 → 101 → 102 → 99 → 97 → 94 → 88 → 83



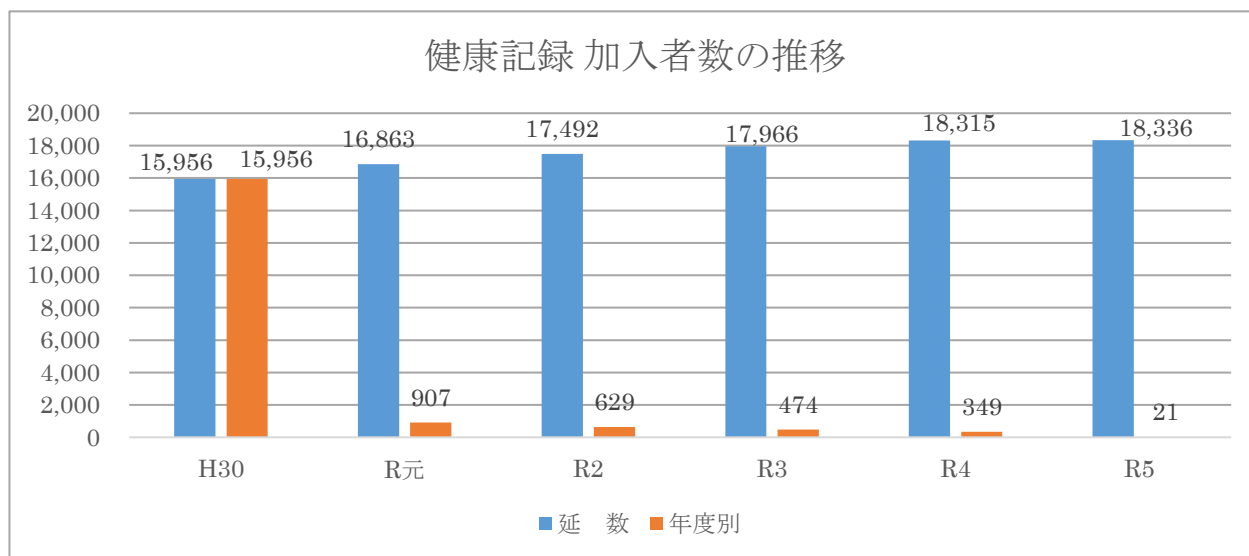
	令和5年度末	令和4年度末	比較
③ 医療機関での紐付け患者数（実数：％） 医科・歯科・調剤薬局 （圏域内+県立病院）	15,972(44.8)	16,453(46.2)	△481(△1.4)
医科（圏域内+県立病院）	15,708(44.0)	16,179(45.4)	△471(△1.4)

※紐付け者数等の推移

H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R元 R2 R3 R4 R5
 ○延 数 2,157→5,935→8,788→10,804→11,889→12,724→14,063→14,933→15,608→16,172→16,453→15,972
 ○紐付け率 24% → 32% → 36% → 39% → 41% → 42% → 43% → 44% → 45% → 46% → 46% → 44%



		令和5年度末	令和4年度末	比較
④ 健康記録加入者数（人：％）		18,336(51.4)	18,315(51.3)	21(0.1)
内訳	圏域内住民	18,297(51.3)	18,281(51.3)	16(0.0)
	圏域外住民	39(75.0)	34(72.3)	5(2.7)



※健康記録加入者の推移

	H30	R元	R2	R3	R4	R5
延数	15,956	16,863	17,492	17,966	18,315	18,336
年度別	15,956	907	629	474	349	21

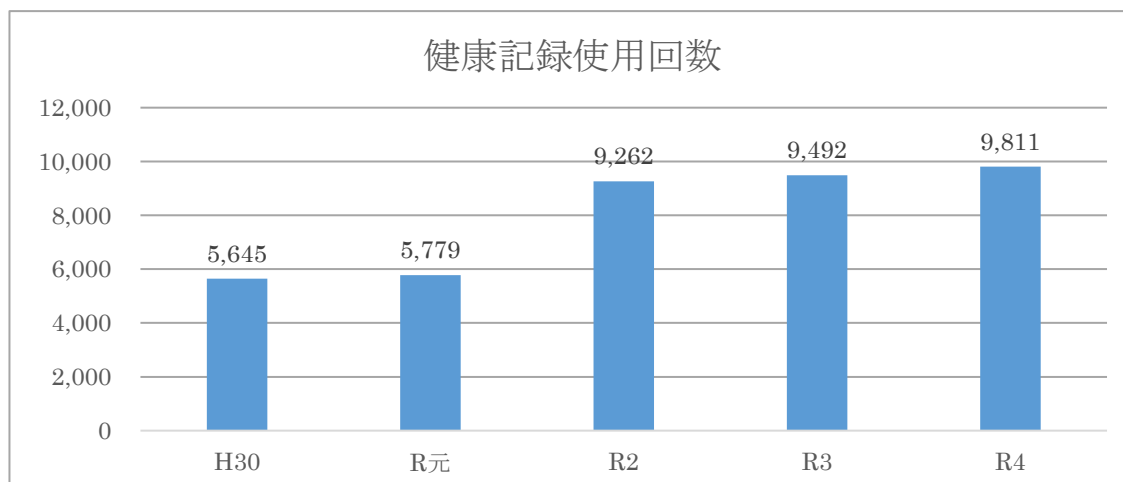
	令和4年度末	令和3年度末	比較
⑤ 健康記録使用回数（回）	9,811	9,492	319

※使用回数の推移

	H30	R元	R2	R3	R4
使用回数	5,645	5,779	9,262	9,492	9,811

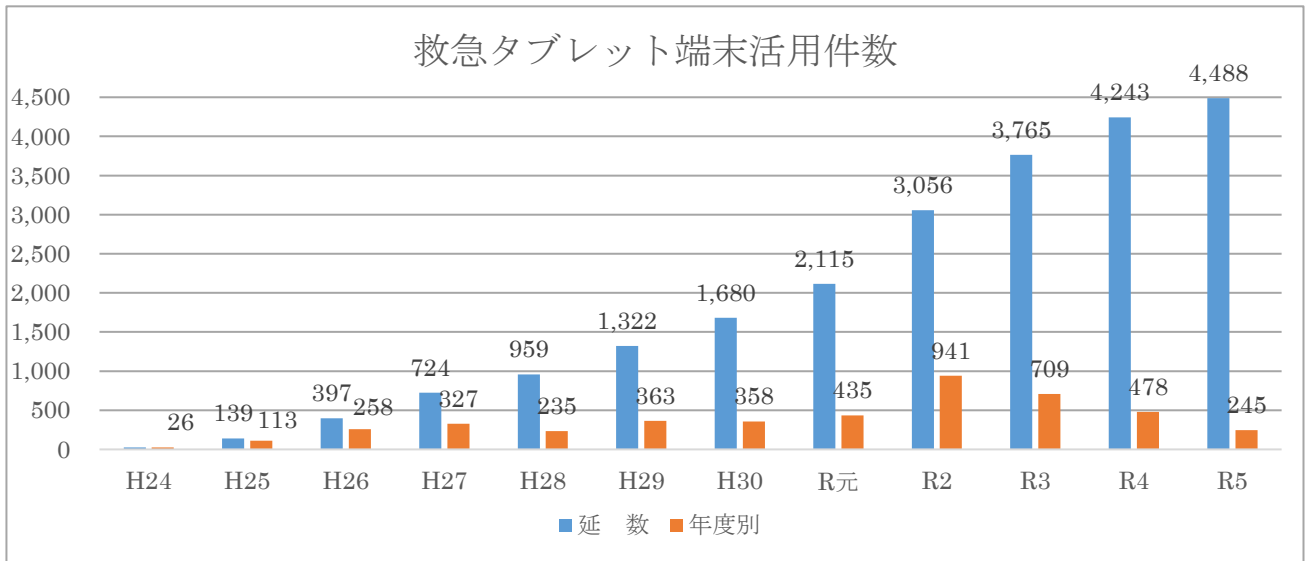
※令和5年度集計月

- 令和5年7月使用回数 930件
- 令和6年1月使用回数 670件
- 令和6年3月使用回数 555件



	令和5年度末	令和4年度末	比較
⑥ 救急タブレット端末活用件数（累計：件）	4,488	4,243	245

※活用件数の推移 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R元 R2 R3 R4 R5
 ○延数 26 → 139 → 397 → 724 → 959 → 1,322 → 1,680 → 2,115 → 3,056 → 3,765 → 4,243 → 4,488
 ○年度別 26 → 113 → 258 → 327 → 235 → 363 → 358 → 435 → 941 → 709 → 478 → 245



【特に有効であった活用事例】

- 患者本人に意識障害があり、居合わせた家族が小さなお子さんしかおらず、聴取が困難であったときに、「とねっと」の情報が役に立った。
- あらかじめ「とねっと」に薬に対するアレルギーが登録してあったので、病院への引き継ぎが容易にできた。
- 一人暮らしの高齢者を搬送し、身内の方への連絡をしようとした際、本人が「自宅に戻らないと息子の連絡先が分からない」とのことであったが、「とねっと」で緊急連絡先情報を取得することができた。

【活用件数の市町別】

行田市 2件
 加須市 2,090件
 羽生市 10件
 久喜市 505件
 幸手市 410件
 白岡市 43件
 宮代町 515件
 杉戸町 913件
 計 4,488件

【令和5年度での消防からの主な活用事例】

日時	令和5年7月28日	曜日	金曜日	種別	急病	搬送先病院	済生会加須病院
傷病者情報	年齢	性別	傷病名	程度			
	90	女	ショック	重症			
概要	90歳女性、自宅で意識状態が悪くなり家族が救急要請された。						
使用状況	意識障害があり会話ができず、また家族も詳しいことはわからなかったため、とねっと検索を行ったところ、加入者と判明した。内容を確認したところ、既往歴や緊急連絡先などの情報把握をし搬送につながった。						

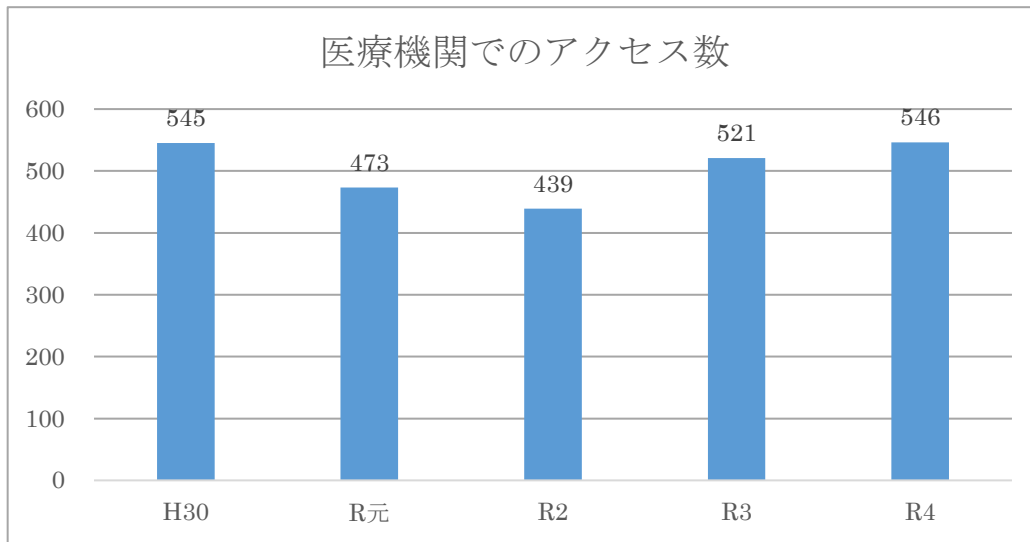
日時	令和5年12月1日	金曜日		種別	急病	搬送先病院	羽生総合病院
傷病者情報	年齢	性別		傷病名	程度		
	85	男		感冒	中等症		
概要	85歳男性、自宅内で体動困難となり救急要請された。						
使用状況	本人からの情報提供に合わせて、内容の確認のため、とねっと検索したところ、既往歴など詳細に把握することが出来て、収容依頼、医師への申し送りを円滑に行うことができた。						

日時	令和5年12月6日	水曜日		種別	急病	搬送先病院	東埼玉総合病院
傷病者情報	年齢	性別		傷病名	程度		
	90	女		呼吸不全	重症		
概要	90歳女性、施設内で呼吸苦があり、救急要請された。						
使用状況	苦しさで本人からの聴取が難しかったため、とねっと検索を行ったところ、加入者と判明した。内容を確認したところ、既往歴や緊急連絡先などの情報把握をし搬送につながった。						

		令和4年度末	令和3年度末	比較
⑦ 医療機関でのアクセス数(件) ※双方向性		546	521	25
内 訳	ア 病院・診療所・調剤薬局→中核病院 中核病院で「とねっと」に登録された病名・アレルギー・検査結果・画像・処方・注射の情報を病院・診療所・調剤薬局が参照	204	226	△22
	イ 中核病院→病院・診療所・調剤薬局 病院・診療所が検査施設を通じて「とねっと」に登録した検査結果・調剤薬局が登録した調剤情報を中核病院が参照	48	69	△21
	ウ 中核病院→中核病院 中核病院で「とねっと」に登録された病名・アレルギー・検査結果・画像・処方・注射の情報を中核病院が参照	131	154	△23
	エ 病院・診療所・調剤薬局→ 病院・診療所・調剤薬局 病院・診療所が検査施設を通じて「とねっと」に登録した検査結果・調剤薬局が登録した調剤情報を病院・診療所・調剤薬局が参照	163	72	91

※令和5年度集計月

- 令和5年7月アクセス数 14件
- 令和6年1月アクセス数 2件
- 令和6年3月アクセス数 0件



⑧ 主な視察・取材・事例発表数（平成23年度～令和5年度） 110件

国： 26件	内訳：厚生労働省 16件 総務省 5件 経済産業省 2件 内閣府 2件 内閣官房参与 1件 (元財務省事務次官)	大臣説明（大臣室）、視察、事例発表 視察 視察 視察 視察
県： 7件	内訳：埼玉県議会福祉保健医療委員会、 埼玉県草加保健所、 埼玉東部保健医療圏地域保健医療協議会 新潟県、山形県、奈良県、神奈川県	視察
医師会： 7件	内訳：大宮医師会、本庄市児玉郡市医師会、 深谷寄居医師会、奈良県・奈良市医師会、 広島県医師会、滋賀県医師会、 佐世保市医師会 など	事例発表 視察
その他 70件	内訳：大学（院）、NHK、新聞社、製薬会社、 シンクタンク など	視察

⑨ 国の評価

- 平成25年 4月 総務省「地域ICT利活用の成功事例」に採用
- 平成25年 9月 厚生労働省「救急医療体制の適正利用に関する先進的な取組事例」に採用
- 平成29年12月 厚生労働省「医療情報連携ネットワークピックアップ（モデル）事例」に採用

⑩ 小学校教材への採用

小学5年生への社会科資料集に2つの出版社が掲載

- 情報ネットワーク（医療）の活用例（平成27年4月1日発行）
- 医療に生かされる情報ネットワーク（平成27年4月1日発行、平成28年4月1日発行）

3 財務面（前年度比較）

（単位：円）

	令和5年度末	令和4年度末	比較
① 現金預金	4,396,537	9,500,960	△5,104,423
② 未収金	0	0	0
③ 貯蔵品 （とねっとカード）	23,454,495	23,467,062	△12,567
流動資産合計	27,851,032	32,968,022	△5,116,990
④ 什器備品 減価償却累計額	90,201,497 △90,201,497	90,201,497 △90,201,489	0 △8
固定資産合計	0	8	△8
資産合計	27,851,032	32,968,030	△5,116,998
⑤ 未払金	216,773	235,162	△18,389
⑥ 預り金	53,052	75,243	△22,191
流動負債合計	269,825	310,405	△40,580
固定負債合計	0	0	0
負債合計	269,825	310,405	△40,580
正味財産合計	27,581,207	32,657,625	△5,076,418
負債及び正味財産合計	27,851,032	32,968,030	△5,116,998
⑦ 次期繰越収支差額 （①+②）－（⑤+⑥）	4,126,712	9,190,555	△5,063,843

（注）上記① 現金預金は、令和6年度に構成市町（7市2町）に「埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会の事務局費に係る費用負担に関する規程」に準じて清算処分する。

③ 貯蔵品（とねっとカード：110,115枚）は、令和6年度に廃棄処分する。

④ 什器備品は、令和5年度末で減価償却終了（帳簿残高0）となる。

⑤ 未払金の内容

- ・ 3月分社会保険料（事業主負担分） 54,576円
- ・ 3月分後納郵便料 3,108円
- ・ 3月分臨時職員賃金 120,138円
- ・ 3月分インターネットバンキング手数料 3,300円
- ・ 2月、3月分電話料金 35,651円

計 216,773円

⑥ 預り金の内容

- ・ 3月分社会保険料（個人負担分） 53,052円

⑦ 次期繰越収支差額4,126,712円のうち、3,375,000円は、令和6年度収支予算に充当している。 ※予算上での残額：751,712円